

## 5: 今回の出展作家は、どのような視点で選ばれたのでしょうか？

日本では、豊かさやステータスの象徴として、すでに高額で評価の定まった作品を所有することに価値を感じる人が多いように思います。たとえば、現在の草間の作品を所有すること自体が、一種の成功の証として見られることもあるでしょう。

もちろんそれも一つの価値です。しかし世界の ART シーンでは、むしろ 20 年、30 年前にまだ十分評価されていなかった作家を見出し、信じてコレクションしていた人たちに対して、強いリスペクトがあります。

つまり、完成した価値を買うのではなく、“価値が生まれていく時間”に参加した人々への敬意です。

私は、日本にもそうした文化が育っていくべきだと思っています。

だから今回の展示では、単に人気や知名度で選ぶのではなく、「これから世界の文脈の中でどのような意味を持っていくか」、そして「すでに世界がどこまで反応を始めているか」という視点で作家を選びました。

今回の出展作家たちは、まだ日本国内では“これから”と見られている部分もあるかもしれませんが。しかし、海外ではすでに鋭く評価が始まっており、私はこのメンバーが今後、確実に世界市場の中心へ入っていくと確信しています。

たとえば高島進は、2019 年にアメリカ唯一の国立美術館 National Gallery of Art に作品がコレクションされ、さらに昨年には Aman Resorts にも収蔵されました。これは単なる販売実績ではなく、「世界の文化資本」がその表現価値を認め始めているということです。

これまでの絵画は、作家の頭の中にあるイメージをキャンバス上に具現化するものでした。しかし高島の作品は、「鉛筆」といった素材そのものの存在性が作品化されている。つまり、“描かれたもの”ではなく、“素材そのもの”が ART になっているんです。私はその独創性に、アートの歴史認識そのものを書き換えるほどの可能性を感じています。

また、東真里江は、初めて海外のアートフェアに参加した段階で、台湾の複数のプロフェッショナルギャラリーから猛烈な取り扱いオファーを受けました。これは単なる偶然ではなく、国境を越えて通用する表現言語を持っている証拠だと思っています。

翌年には台北の異雲書屋から「ART TAIPEI」に参加し、その翌年の個展では作品がほぼ完売。さらに昨年末には、スイスのギャラリーを通じてパリのアートフェアにも参加し、高い評価を獲得しました。つまり、アジアだけでなくヨーロッパ市場でも反応が始まっている。私は彼女が、今後世界市場で大きく飛躍していく可能性を非常に強く感じています。

鳥越一輝は、彼自身が生み出した独自技法《beyond the stroke》によって、国際的にも極めて特異な存在として注目されています。これは筆触の限界を越え、水の流動や偶然性を取り込みながら、時間と空間を再構築していく試みであり、中国語圏ではすでに「超越筆畫」とも称され始めています。

その表現は単なる抽象ではなく、視覚体験そのものを更新するような強度を持っています。近年では、台湾・高雄の大手デベロッパー「仰徳建設」によるプロジェクトに採用され、高雄市立美術館近郊に「仰徳美術館 — 鳥越一輝」が完成し、大きな話題を呼びました。

一人の現代作家の名前を冠した空間が海外で成立するということが自体、すでに彼が単なる国内作家ではなく、国際市場の中で期待される存在になっている証だと思っています。

また、平松宇造は独自のスタイルによって瞬く間に世界中のファンを巻き込み、現在では Instagram のフォロワー数も 12 万人に迫る勢いです。

しかし重要なのは、単なる SNS 人気ではありません。世界中の人々が、言語や文化を越えて彼の作品に強く反応しているという事実です。今の時代、世界市場はギャラリーや評論だけではなく、個人の熱狂によっても形成されていく。その意味で、平松は極めて現代的なグローバル性を持った作家だと思っています。

さらにシーズン・ラオは、2023 年にフランス・ニースの国立東洋美術館で個展を開催しました。同年、福岡に開業したザ・リッツ・カールトン福岡では、エントランスに 10 メートル規模の大作が設置され、さらにフロントやカフェスペースにも作品がコレクションされています。

これは単に“ホテルに飾られた”という話ではありません。世界最高峰のラグジュアリーブランドが、その空間価値を形成する存在として作品を選んだということです。つまり、すでに国際的な文化空間の中で評価が始まっているということだと思っています。

今回の展示は、この展示は、“まだ無名な作家を見る場”ではありません。

世界がこれから本格的に評価していく作家たちを、日本で最も早く目撃する場なのだと思います。